

力走 田辺工業27位



発行所 © 紀伊民報社
和歌山県田辺市秋津町
100番地 〒646-8660
電話・0739 (22) 7171 (代)
営業FAX・0739 (26) 0077
編集FAX・0739 (25) 3094
振替口座・00930-2-21977

和歌山支局
電話 073 (428) 7171
串本支局
電話 0735 (62) 7171
新宮通信部
電話 0735 (31) 7174



初出場

都大路でたすきつなく

全国高校駅伝男子の部

全国高校駅伝競走大会が23日、京都市の都大路であり、男子の部（7区間42・195キ）に具代表として田辺市の田辺工業が初出場し、27位だった。記録は2時間9分4秒。初めての全国の舞台で力を出し切り、11月の県予選の記録を34秒上回った。

(2、9面に関係記事)

男子の部は69回目で、47都道府県の代表校が出場した。西京極陸上競技場を発着点に、京都市内を走った。田辺工業の選手は3年生3人、2年生6人の計9人。1区（10キ）は野村優作君（3年）がスタート直後にトップ

を走るなど5キ近くまで先頭集団に食らいつき、20位で2区（3キ）の井瀧洸太君（2年）にたすきを渡した。3区（8・1075キ）は主将の都築勇貴君（3年）が外国人選手と競り合いながらも勝負強さを発揮し、区間14位と快走した。

4区（8・0875キ）は重石卓哉君（3年）が粘り、5区（3キ）の中山友哉君（2年）にたすきをつないだ。6区（5キ）の井瀧翔太君（2年）は区間22位と健闘し、7区（5キ）で副主将の水井翔哉君（2年）が総合27位でゴールした。

田辺工業陸上競技部の後援会が応援バスを2台出すなど、選手の家や地域の支援者、卒業生ら約100人が応援に駆け付けた。都築君は「目標の20位以内、2時間8分切りを達成することはできなかったけど、全員が力を出し切った。1年生からこの大会を目指していたので、これまで走ってきた中で一番楽しかった」と笑顔。顧問の藤井歩監督は「目標のタイムと順位には届かなかったので選手たちは悔しいと思うが、精いっぱい走った。頑張る姿が応援していただいた多くの皆さんへの恩返しになった。これをスタートにしてまた一からいいチームをつくりたい」と話した。

男子の部優勝は倉敷（岡山県）で2時間2分9秒。5区間21・0975キで競った女子の部は神村学園（鹿児島県）が1時間7分25秒で優勝、県代表の和歌山北は58チーム中54位だった。

第2中継所で田辺工業の第2走者井瀧洸太君からたすきを受け取る都築勇貴君
(23日、京都市で)